

# 仙台市議会だより

sendai city assembly

第188号  
令和2年

第1回定例会号

<http://www.gikai.city.sendai.jp/>

2020年(令和2年)5月発行

発行 仙台市議会

編集 仙台市議会広報委員会

TEL (214) 6169 青葉区国分町3-7-1

年4回発行



青葉山公園の伊達政宗公騎馬像



ヒレンジャク



キビタキ



青葉山公園から中心市街地を望む



ニホンリス



アオバズク

## 新緑のまぶしい季節を迎えました

仙台市は、青葉山公園を取り囲む深い森をはじめ、多くの自然に恵まれています。木々や草木がみずみずしい若葉を茂らせ、それに誘われるように自然の中で暮らす多種多様な野生動物も生き生きと活動する季節となりました。身近な自然や生き物たちに目を向けてみませんか。

## 令和2年度当初予算を含む63件の議案を可決

3/12	2/25 ~ 3/10	2/21	2/18 ~ 20	2/14 ・17	2/7
本会議	予算等審査特別委員会	常任委員会	本会議	本会議	本会議
<ul style="list-style-type: none"> <li>人事案件</li> <li>予算等審査特別委員会委員長報告</li> <li>常任委員会委員長報告</li> <li>議案の討論・採決</li> <li>意見書の採決</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算等議案の審査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算等議案以外の審査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般質問 24人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表質疑 6人</li> <li>意見書の採決</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人事案件</li> <li>議案の提案理由説明</li> <li>議会運営委員の辞任・選任</li> </ul>

### 令和2年第1回定例会 会期

### 市民のみなさまへ

令和2年第1回定例会には、令和2年度当初予算案や条例案など、63件の議案が提出されました。

特に新型コロナウイルスについては、2月13日に国内初の死者が確認されたことを受け、直ちに国に対する意見書「新型コロナウイルス感染症対策の徹底を求める件」を全会一致で可決しました。また、会期を通じ、感染の拡大防止に向けた迅速な対応や、市民生活への影響を最小限に抑えるための施策について、当局に確実な実施を求めました。このほか、代表質疑では、宿泊税導入・県美術館移転に係る県との関係、ガス事業の民営化、新総合計画、都心再構築プロジェクトなど、本市の未来に関わる重要課題につ

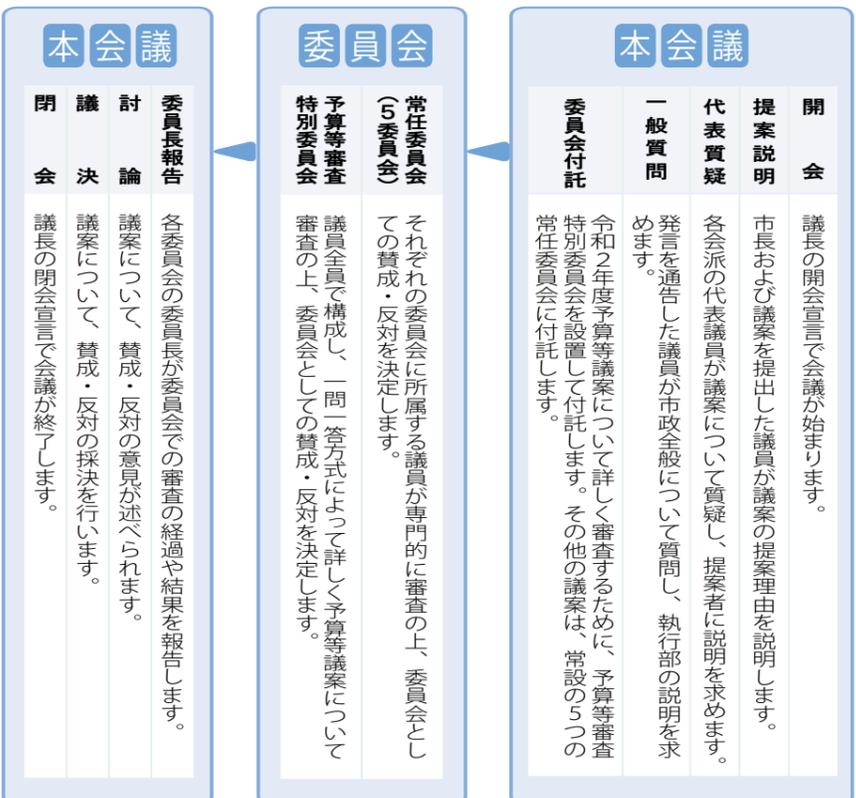
いて質疑を行いました。

一般質問では、自然災害への対応、不登校児童生徒への支援、プラスチックごみの削減など、市政の幅広い分野について質問を行いました。

また、予算等審査特別委員会を設置し、令和2年度当初予算案や関連する条例案などについて議論を展開しました。さらに、前述の意見書に加え、介護人材の確保と中高年層のひきこもりへの支援を求める意見書2件についても全会一致で可決し、国会および関係行政庁に提出しました。本市議会は、さまざまな課題や状況の変化に即応した的確な対応に努め、市民の皆さまの安全・安心のため、万全を期してまいります。

仙台市議会  
議長 鈴木 勇 治  
副議長 嶋 中 貴 志

### 定例会の流れ



### 目次

市民のみなさまへ	1面
定例会会期日程	1面
定例会の流れ	1面
主な議案の紹介	2面
代表質疑	2・3面
常任委員会審議の概要	4面
一般質問	4・5面
用語解説	5面
予算等審査特別委員会	6・7面
次回定例会のお知らせ	7面
会派別議案賛否一覧表	7面
政治家の寄附の禁止について	7面
会派別所属議員	7面
議長特別表彰を行いました	7面
意見書	7面
編集後記	8面

### 主な議案の紹介

今定例会に提出された議案 63 件全てが可決され、成立しました(8面の会派別議案賛否一覧表をご参照ください)。以下、成立した議案の一部を紹介いたします。  
なお、予算等の審査については、6・7面をご覧ください。

**令和元年度補正予算**  
○一般会計(主な補正項目)  
・震災からの復興事業推進のため積立金8億164万1千円を追加するもの  
・指定難病医療受給者の増加および1人当たりの医療費単価の増加に伴う医療費助成額の増加に対応するため、必要な経費2億5874万7千円を追加するもの

・令和3年度の東北デスティネーションキャンペーン開催に向けたプロモーション等に要する経費として、「東北デスティネーションキャンペーン推進協議会」への負担金215万円を追加するもの  
・中小企業の活性化に関する事業の総合的な推進を図るため、中小企業活性化基金への造成積立6億14万9千円を行うもの  
・令和元年度第1号補正予算を受け、令和元年度第1号補正予算に係る補助事業認定決定見込みに係る補助費等購入費の一部を助成する経費4320万円を追加するもの  
・国の令和元年度第1号補正予算に係る補助事業認定決定見込みに係る補助費等購入費の一部を助成する経費4320万円を追加するもの

・国の令和元年度第1号補正予算に係る補助事業認定決定見込みにより、橋梁維持補修等に必要経費1億9390万円を追加するもの  
・国の令和元年度第1号補正予算による公立学校情報通信ネットワーク環境整備費補助金を活用し、校内通信ネットワークの整備を行うために必要な経費48億8560万円を追加するもの  
**条例など**  
○動物愛護管理員の設置に関する条例  
「動物の愛護及び管理に関する法律」の改正に伴い、本市に動物愛護管理員を置くもの  
○中央卸売市場業務条例  
「卸売市場法」の改正を考慮し、中央卸売市場の業務に関し必要な事項を定める等のため、「仙台市中央卸売市場業務条例」の

全部を改正するもの  
○印鑑条例の一部を改正する条例  
印鑑の登録を受けることができない者の範囲を改めるとともに、印鑑の登録を抹消する場合から印鑑登録者が後見開始の審判を受けたときを除くもの  
○人と猫との共生に関する条例の一部を改正する条例  
「動物の愛護及び管理に関する法律」の改正を考慮し、飼ひ猫の繁殖制限に係る義務を定める等のもの  
○浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部を改正する条例  
「浄化槽法」の改正を考慮し、浄化槽保守点検業者が浄化槽管理士に研修を受けさせなければならぬこととするもの  
○消防団員に関する条例の一部を改正する条例  
消防団員の定員を改定し、非常

勤の消防団員の休団に関し必要な事項を定めるとともに、停職または免職の処分を受けた非常勤の消防団員に対し、その処分を受けた月の報酬を支給しないこととするもの  
○学校条例の一部を改正する条例  
令和元年度第19号の被災者等の令和2年度に係る入学選抜手数料、入学金および授業料について減免することができるとする等のもの  
○教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部を改正する条例  
「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の改正を考慮し、教育委員会が教育職員の正規の勤務時間およびそれ以外の時間において行う業務の量の管理等の措置を講ずることとするもの

当該措置に関し必要な事項を定めるもの  
○指定管理者の指定に関する件  
若林障害者福祉センターの指定管理者を指定するもの  
**人事**  
○副市長の選任  
藤本章  
○主任秘書の選任  
須藤義彦  
○人権擁護委員候補者の推薦  
白鳥裕子、高橋智男、堀江謙一、渡邊真弓、西山大助、渡田真弓、山崎大助、齋藤信一、時子、齋藤信一、荒井美佐子  
○人事委員会の委員の選任  
中塚正志  
○監査委員の選任  
小林仁

## 自由民主党

橋本 啓一 議員

**問** 市内で新型コロナウイルスの感染が確認された場合に備え、不安を抱える市民により多くの情報提供を行ってほしい。感染症指定医療機関の受け入れ体制についても伺う。

**答** 適切な感染予防対策に向け、さまざまなメディア等を活用し、最新の情報提供に努める。また、感染症指定医療機関での受け入れ

については、事態の推移に対応できるように、関係機関とも連携し適切な医療体制を確保していく。  
**都心再構築プロジェクト**  
第1弾施策発表後の取り組み  
**問** 都心再構築プロジェクトの第1弾施策発表後における民間事業者の動向と、さらなる誘導に向けた今後の取り組みについて伺う。

**答** 昨年の施策公表以降、開発事業者等の関心は非常に高い。今後は対象エリア拡大に取り組み、相談体制等の充実を図りながら、さらなる誘導を行っていく。  
**その他の主な質疑項目**  
○県を振り回すくらいスピード感で政策を展開していくべき  
○東京オリンピック・パラリンピックを契機としたインバウンド誘客  
○子ども医療費助成拡充の対象者



子どもの元気がまちの活力(写真は勾当台公園市民広場でのイベント)

拡大の範囲とさらなる充実  
○保育基盤の計画的な整備と待機児童解消への見通し  
○外国人の介護人材確保に向けた市独自の支援などの取り組み  
○コミュニティ・スクールの導入効果と活用方策  
○ガス事業民営化に向けた速やかな公募条件や選定基準の検討  
○今後の財政状況の見通しと財政運営の難局を乗り切る市長の決意

## 公明党

鈴木 広康 議員

**問** 「子育てするなら仙台」と本市を選んでもらうために、新たな「すこやか子育てプラン」の下、限られた財源で今後どのように子育て支援策に取り組んでいくのか、市長の考えを伺う。

**答** 必要な施策には思い切った予算配分を行い、各区役所等における「子ども家庭応援センター」

の体制構築、子ども医療費助成の拡充等に取り組むとともに、子育てに係る情報発信の強化などの取り組みも積極的に推進していく。  
市民にとって安全・安心な  
中央卸売市場の運営を  
**問** 中央卸売市場業務条例の改正後も、公平・公正な取引や安全・安心な生鮮食品等の安定供給などが維持されるよう、開設者である本市が継続して取り組むべき

**答** 開設者として、今後も市場の取引秩序が順守されるよう指導・監督するとともに、取引の拡大に向けて市場関係者の連携を深め、適切な運営に努めていく。  
**その他の主な質疑項目**  
○東日本大震災追悼式は、震災の風化を防止し、犠牲者への哀悼の意を示す場として継続すべき



安全・安心な生鮮食品等の安定供給が求められる中央卸売市場

# 代表質疑

## 民主フォーラム 仙台

村上 かずひこ 議員

**問** 本市の財政見通しと固定資産税の税収確保

**答** 本市の財政見通しでは、令和3年以降の3年間で約889億円の収支不足が生じる。社会保障費等の増加が見込まれる中、事業廃止も含めた抜本的対策が必要ではないか。また、税収確保の観点から所有者不明の土地等の発生防止対策が急務と考えるが、所見を伺う。

**問** せんだい都心再構築プロジェクトにおいて、仙台駅西口の青葉通の一部広場化や定禅寺通の活性化が示されているが、早期実現に向け、現状や課題について伺う。

**答** 青葉通の広場化は、実現の可能性を含め、これから検討を始める段階であり、周辺道路も含めた交通処理等が必要と考えている。定禅寺通については、一部車線を通行止めにして道路利活用の効果

等を検証する社会実験を秋頃に行うため、県警等との調整を進めている。  
**その他の主な質疑項目**  
○若者の人口流出抑制には起業家のスタートアップ支援が重要  
○中央卸売市場業務条例改正に取引参加者の意向を十分反映させよ  
○西公園でのロボコン事業実施  
○市立病院の浸水対策に多重防衛を  
○宿泊税の具体的な使途の明確化  
○ガス局職員の民営化への不安解消



定禅寺通の活性化に向け昨年実施した定禅寺通ストリートパーク19の様子

## 社民党

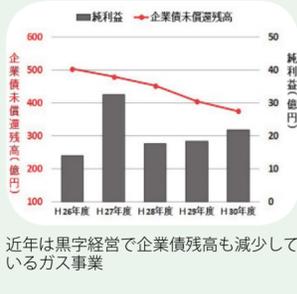
石川 建治 議員

**問** 今後の財源対策について

**答** 本市の財政見通しでは、令和3年以降の3年間で約889億円の収支不足が生じる。多数の大型事業が控える中で、今後どのような財源対策を講じるのか伺う。

**問** 本市ガス事業は、5年連続の黒字に加え、企業債も大幅に減少しているなど、安定経営が続いている。市民が民営化について間違った判断を下せるよう、事業継承に伴うさまざまな疑問や課題等の情報を適切に提供する必要があると考えるが、所見を伺う。

**答** 今後、人口減少や自由化による事業環境の変化が見込まれており、将来を見据えたと民間事業者に経営を委ねる必要がある。事業継承後の5年程度は引き継ぎ業務に当たり、技術や設備の維持更新を確実に継承するとともに、新たなサービスの提供により利便性



近年は黒字経営で企業債残高も減少しているガス事業

## 日本共産党

すげの 直子 議員

**問** 学校給食費の値上げ分は公費負担とすべき

**答** 今回の改定分を全て公費負担とした場合、年間約6億円の新たな財政負担が見込まれる。学校

**問** 本市の宿泊税導入検討に対し、強い怒りの声が寄せられている。本庁を積み立てられる本市の財政状況からしても、宿泊税に頼らずに観光振興財源を確保することは可能と考えるが、いかがか。

**答** 観光の地域間競争が激しさを増す中、本市独自の交流人口拡大施策の展開が必要だが、社会保障費の増加等により財政見通しは厳しく、新たな財源確保は極めて

重要な課題である。検討会議が3月に取りまとめる報告書を踏まえ、市としての方針を決定したい。  
**その他の主な質疑項目**  
○ガス事業の民営化はやめよ  
○保育士不足解消のため、市独自の家賃補助を実施するなど、保育士の処遇を改善すべき  
○財政見通しにおける収支不足額と実際の不足額との乖離が大きいため、試算の手法を改めるべき



宿泊者・宿泊事業者の負担となる宿泊税の導入はやめよ

## 蒼雲の会

安孫子 雅浩 議員

**問** 市民サービス向上を目指す市役所コルセンターの開設について

**答** 市政に関する定型的な問い合わせを一元的に受け付けることで、閉庁時間帯も含め市民が迷うことなく問い合わせができるよう

**問** 新総合計画の策定において、多文化共生の視点が肝要であると考えるが、所見を伺う。

**答** 新総合計画では、「共生」を重視すべき視点の一つに掲げ、多文化への理解の促進や交流の場づくりなど、幅広い視点で議論を進めている。市内に居住する外国人の増加傾向が続くものと見込んでおり、安全安心で暮らしやすい

まちづくりと、活力創出の両面を見据えながら、多文化共生社会に向けた検討を深めていく。  
**その他の主な質疑項目**  
○県美術館の移転問題に対する市民からの数多くの声について  
○子ども医療費助成制度を拡充することとした市長の英断  
○市内中心部に歩いて楽しいウォーキング環境の整備を  
○泉区役所の建て替えについて



新総合計画に多文化共生の視点を(写真は仙台多文化共生センター)



# 予算等審査 特別委員会

委員長 鎌田 城行  
副委員長 渡辺 敬信

本委員会は、全議員55人で構成され、委員は所属会派の議員数に依じた持ち時間内で、各会計・費目ごとに一問一答形式で質疑を行います。委員会は、2月25日から11日間開催され、延べ98人の委員が約40時間にわたり質疑を行いました。主な質疑と答弁の要旨等を会派ごとに掲載します。

## 自由民主党

猪又 隆広 委員

○東京オリンピック・パラリンピックについて  
・ホストタウンの取り組み  
・パブリックビューイング  
・選手と子どもたちの交流  
○仙台フィルの運営と公演充実  
○SBLの認知度向上と消防団との連携による防災力アップ

田村 勝 委員

○J-R福岡町のバリアフリー化の方向性を明確に示せ  
○駅移設を基本に検討していく  
○JR東日本と取り交わしたところである  
○J-R福岡町の移設に合わせ、福岡用水路切の拡張など駅周辺の一体的な整備を

内藤 良介 委員

○奨学金返還支援事業は、奨学金利用者の状況を把握し、対応可能な予算額を増額すべき  
○地元企業の人材確保状況や大学の就職支援担当者の意見等も踏まえ検証検討する  
○次期一社の都の自転車プランの具体的目標と達成時期

千葉 修平 委員

○私立保育所の新設・増設だけでなく、建て替えに対しても積極的に助成すべき  
○公園駅周辺のまちづくり  
○民間連携によるまちづくり  
○長期休校に伴う児童生徒の心のケアと卒業式の代替措置  
○児童生徒のネット依存調査  
○ひとり親の養育費確保に向け

## 民主フォーラム山形

山下 純 委員

○学校の電話自動音声案内は、翌日のかけ直しを依頼するだけでなく、コールセンターなどの適切な窓口で相談を受けられる仕組みにすべき  
○システムや料金上の課題などをクリアする必要がある  
○現時点では困難と考える  
○児童生徒の教育格差が生じないよう、ICT教育における環境整備を進めよう  
○通信環境やセキュリティなどの課題を一つ一つ解消しながらICT活用を進めていく  
○RPAで削減した時間を有効活用するマネジメントを

郷古 正太郎 委員

○消毒用アルコールの入手が困難で学校の備蓄量に不安の声がある。確保・支援を  
○緊急手配しており、近

## 日本共産党

高見 のり子 委員

○蒲生干潟や埋蔵文化財などを生かし、未来の蒲生のまちづくりを市民と進めるべき  
○郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト補助金は、市民に使いやすい制度とし、柔軟な対応に努めるべき  
○庄司 あかり 委員

庄司 あかり 委員

○床上浸水の場合も一部損壊となる認定基準の緩和要請と市独自の住宅再建支援の実施を  
○マンパワーの不足が震災の教訓。職員体制の強化を含めた「人づくり」の推進を  
○契約情報変更の際は市に連絡するよう東北電力に求めよ  
○高村 直也 委員



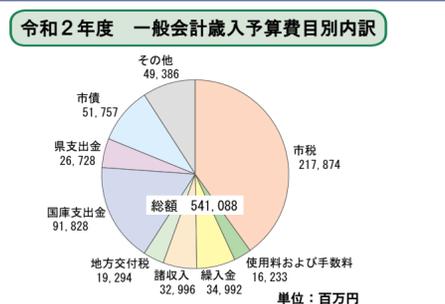
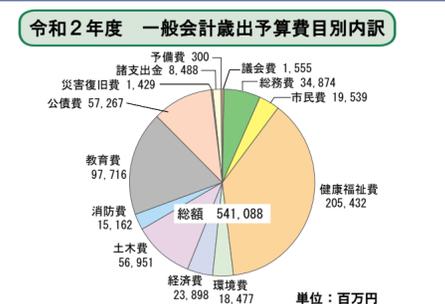
老朽化が著しい袋原小学校の体育館(昨年の台風19号による雨漏りの様子)

○袋原小学校の体育館・トイレ改修、エレベーターの設置を  
○一斉休校により仕事がなくなった非常勤講師や給食パート職員等への補償を行うべき  
○清掃や研修など、児童

○私立保育所の新設・増設だけでなく、建て替えに対しても積極的に助成すべき  
○公園駅周辺のまちづくり  
○民間連携によるまちづくり  
○長期休校に伴う児童生徒の心のケアと卒業式の代替措置  
○児童生徒のネット依存調査  
○ひとり親の養育費確保に向け

○児童生徒の心のケア  
○子育て支援のさらなる充実  
○地元企業の人手不足の打開策  
○介護人材不足への危機感  
○道路の安全と予算の確保  
○JR仙台駅西口の広場教育  
○外国人子弟への日本語教育  
○新型コロナウイルスの観光振興  
○新年度に挑む市長の思い

○市内でも新型コロナウイルス感染症の患者が初めて確認された。市民の不安払拭のため、患者の行動歴等の情報も必要に応じて公開すべきと考えるが、所見を伺う  
○感染リスク低減に必要な場合は、個人情報・風評被害への配慮や患者本人・施設管理者の同意取得に努めた上で、立ち寄った施設など具体的な行動歴の公表もあり得る



### 令和2年度 市税の内訳

税目	当初予算額(百万円)	構成(%)	対前年度比(%)
市民税	110,858	50.9	96.6
固定資産税	76,594	35.1	103.0
軽自動車税	1,697	0.8	103.4
市たばこ税	7,321	3.4	98.8
鉱産物税	1	0.0	100.0
特別土地保有税	6	0.0	150.0
入湯税	202	0.1	100.0
事業所税	5,674	2.6	102.0
都市計画税	15,521	7.1	103.0
合計	217,874	100.0	99.5

さらなる支援の取り組みを  
○産後ケア事業実施施設の拡充  
○新型コロナウイルス対策  
○市ホームページでのハザードマップ掲載方法の見直し  
○ICTによる遠隔教育の不登校児童生徒等への活用

高橋 卓誠 委員

○兄弟姉妹が同じ保育施設を利用できるが改善せよ  
○保育基盤整備の推進に加え、同時利用可能な施設の積極的な情報提供に取り組む  
○複数ある市の観光情報サイトを整理し利用しやすくせよ  
○外国人観光客向け災害情報を  
○外国人観光客向け災害情報を  
○Wi-Fi環境が未整備の市民利用施設への整備促進を  
○子どもの遊びの環境に関する調査・研究の詳細について

菅原 正和 委員

○青葉山公園は自然環境と歴史的な魅力を生かしつつ、仙台のシンボルとなるように各局連携して整備すべき  
○震災の経緯、教訓を生かした職員間伝承プログラムの構築  
○若者の発想と提案を市政に生かすための環境づくり  
○交通指導隊員の定年再延長  
○新規指導隊員募集の取り組み  
○全ての指導隊員に自転車用ヘルメットを配備すべき

松本 由男 委員

○副市長の定数案や人件費予算は実態に合わせ見直すべき  
○街灯電気料金の全市統一した予算積算基準を示すべき  
○増収となった森林環境譲与税を集中投下し課題解決を

日中に一定量を確保し、不足している学校へ送付する。  
○子育てアプリについて  
○中小企業の新型コロナウイルス相談窓口  
○地域交通と市営バス等の維持・発展に向け、採算ではなく住民福祉の充実の観点から行政が下支えすべき

細野 たかし 委員

○既存の路線バス網を最大限に活用しつつ、地域交通への支援を拡充し、将来においても市民の足を確保していく  
○児童館整備と職員の処遇改善  
○若い世代の町内会活動参加促進と地域要望の拾い上げ  
○新型コロナウイルスに伴う保育所、幼稚園・学校、児童館の対応  
○一律休校による未履修対応  
○子どものインフルエンザ予防接種への助成制度創設  
○学校給食費への補助拡充  
○災害に備えた無電柱化推進  
○地区集会所における電

村上 かずひこ 委員

○都市の文化度に寄与する図書館資料費の削減はやめるべき  
○ブックスタート事業の検討  
○養護教諭の複数配置の推進  
○不登校児童生徒の相談体制  
○中央卸売市場業務条例改正

○就学援助制度における修学旅行費は旅行前に支給すべき  
○就学援助認定基準額は実質的に生活保護基準額を下回っており、引き上げが必要  
○低所得者世帯等への学校給食費の減免・補助を行うべき  
○就職支援センターの整備  
○就職支援センターの整備  
○就職支援センターの整備

○新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市民利用施設への影響と対策について  
○コールセンター整備事業  
○歩道橋出入口周辺の安全対策と安全点検を実施すべき  
○歩道の根上がり対策の予算を確保し、計画的な修繕を  
○今回の新型コロナウイルスはわが国にとって本当に困難。難しがいじ取りを迫られている中、仙台市・市議会にとつて大切なのは市民の健康・生命・財産を守ること。与党・野党・政界を超え、超党派で乗り越えよう

○新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市民利用施設への影響と対策について  
○コールセンター整備事業  
○歩道橋出入口周辺の安全対策と安全点検を実施すべき  
○歩道の根上がり対策の予算を確保し、計画的な修繕を  
○今回の新型コロナウイルスはわが国にとって本当に困難。難しがいじ取りを迫られている中、仙台市・市議会にとつて大切なのは市民の健康・生命・財産を守ること。与党・野党・政界を超え、超党派で乗り越えよう

○新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市民利用施設への影響と対策について  
○コールセンター整備事業  
○歩道橋出入口周辺の安全対策と安全点検を実施すべき  
○歩道の根上がり対策の予算を確保し、計画的な修繕を  
○今回の新型コロナウイルスはわが国にとって本当に困難。難しがいじ取りを迫られている中、仙台市・市議会にとつて大切なのは市民の健康・生命・財産を守ること。与党・野党・政界を超え、超党派で乗り越えよう

○新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市民利用施設への影響と対策について  
○コールセンター整備事業  
○歩道橋出入口周辺の安全対策と安全点検を実施すべき  
○歩道の根上がり対策の予算を確保し、計画的な修繕を  
○今回の新型コロナウイルスはわが国にとって本当に困難。難しがいじ取りを迫られている中、仙台市・市議会にとつて大切なのは市民の健康・生命・財産を守ること。与党・野党・政界を超え、超党派で乗り越えよう

○森林・林業業務の増加に備え本市でも専門人材の育成を  
○菊地 崇良 委員

○私たちの自助・共助・公助の取り組みにウィルスの正しい知識が加われば困難を克服できる。市は簡明な発信と業務継続を、市民は冷静な行動を。  
○パンパミックを想定した万全の医療体制・経済等の対策を  
○総力戦を乗り切る支援策を  
○加藤 和彦 委員

橋本 啓一 委員

○都市計画マスタープランの検証と次期計画への反映  
○市街化調整区域について  
○違反建築物に対する徹底した是正指導と未然防止  
○開発許可基準や地区計画の変更による柔軟な対応  
○地域の再生や振興に寄与する土地利用の見直し  
○高藤 範夫 委員

佐藤 正昭 委員

○新型コロナウイルスから市民の安全・安心を守るという明確なメッセージを市長自ら発信していくべき  
○社会参加と介護予防の関係  
○音楽ホール整備はEBPMの観点から取り組むべき  
○(仮称)勾当台ヒュンジョン策定の必要性と他施策との関係

佐藤 正昭 委員

○交流人口・関係人口の拡大に向け、都市間交流の担当部署を整理し一元化せよ  
○都市間交流の推進における組織間の横ぐし役割について、さらに掘り下げて検討を進めていきたい  
○音楽ホールは規模を見直し、指定する対象の拡大を

○新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市民利用施設への影響と対策について  
○コールセンター整備事業  
○歩道橋出入口周辺の安全対策と安全点検を実施すべき  
○歩道の根上がり対策の予算を確保し、計画的な修繕を  
○今回の新型コロナウイルスはわが国にとって本当に困難。難しがいじ取りを迫られている中、仙台市・市議会にとつて大切なのは市民の健康・生命・財産を守ること。与党・野党・政界を超え、超党派で乗り越えよう

○新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市民利用施設への影響と対策について  
○コールセンター整備事業  
○歩道橋出入口周辺の安全対策と安全点検を実施すべき  
○歩道の根上がり対策の予算を確保し、計画的な修繕を  
○今回の新型コロナウイルスはわが国にとって本当に困難。難しがいじ取りを迫られている中、仙台市・市議会にとつて大切なのは市民の健康・生命・財産を守ること。与党・野党・政界を超え、超党派で乗り越えよう

○新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市民利用施設への影響と対策について  
○コールセンター整備事業  
○歩道橋出入口周辺の安全対策と安全点検を実施すべき  
○歩道の根上がり対策の予算を確保し、計画的な修繕を  
○今回の新型コロナウイルスはわが国にとって本当に困難。難しがいじ取りを迫られている中、仙台市・市議会にとつて大切なのは市民の健康・生命・財産を守ること。与党・野党・政界を超え、超党派で乗り越えよう

○新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市民利用施設への影響と対策について  
○コールセンター整備事業  
○歩道橋出入口周辺の安全対策と安全点検を実施すべき  
○歩道の根上がり対策の予算を確保し、計画的な修繕を  
○今回の新型コロナウイルスはわが国にとって本当に困難。難しがいじ取りを迫られている中、仙台市・市議会にとつて大切なのは市民の健康・生命・財産を守ること。与党・野党・政界を超え、超党派で乗り越えよう

## 公明党

岡部 恒司 委員

○1人暮らしの高齢者の増加を踏まえ、家庭ごみ指定袋は特小サイズよりも小さいサイズの導入を検討すべき  
○民間建築物のPCB廃棄物については、専門家による調査を本市独自に行うべき  
○災害廃棄物処理の知識・経験の継承について  
○庄司 俊充 委員

西澤 啓文 委員

○河川の災害復旧は、被災箇所の前後も含めた広範囲での改良復旧とすべき  
○広範囲の対策は被害の拡大防止のために必要。国の財政支援策や補助制度の活用を検討していく  
○「都の都景観重要建築物等に指定する対象の拡大を

佐藤 正昭 委員

○交流人口・関係人口の拡大に向け、都市間交流の担当部署を整理し一元化せよ  
○都市間交流の推進における組織間の横ぐし役割について、さらに掘り下げて検討を進めていきたい  
○音楽ホールは規模を見直し、指定する対象の拡大を

佐藤 正昭 委員

○製品プラスチックのリサイクル実証事業について  
○高齢者保健福祉の地域連携に確保につながる効果的対策を  
○佐藤 わか子 委員

佐藤 わか子 委員

○不登校児童生徒の減少に確保につながる効果的対策を  
○多様な居場所をつくり、向け民間施設等と連携を進めよう  
○適応指導教室に加え、フリースクールや在宅学習支援など、多様な学びの場の創出を  
○バイオガス化で生ごみを減量し、焼却施設の規模縮小を

○新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市民利用施設への影響と対策について  
○コールセンター整備事業  
○歩道橋出入口周辺の安全対策と安全点検を実施すべき  
○歩道の根上がり対策の予算を確保し、計画的な修繕を  
○今回の新型コロナウイルスはわが国にとって本当に困難。難しがいじ取りを迫られている中、仙台市・市議会にとつて大切なのは市民の健康・生命・財産を守ること。与党・野党・政界を超え、超党派で乗り越えよう

## 蒼雲の会

加藤 けんいち 委員

○新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市民利用施設への影響と対策について  
○コールセンター整備事業  
○歩道橋出入口周辺の安全対策と安全点検を実施すべき  
○歩道の根上がり対策の予算を確保し、計画的な修繕を  
○今回の新型コロナウイルスはわが国にとって本当に困難。難しがいじ取りを迫られている中、仙台市・市議会にとつて大切なのは市民の健康・生命・財産を守ること。与党・野党・政界を超え、超党派で乗り越えよう

小野寺 健 委員

○今回の新型コロナウイルスはわが国にとって本当に困難。難しがいじ取りを迫られている中、仙台市・市議会にとつて大切なのは市民の健康・生命・財産を守ること。与党・野党・政界を超え、超党派で乗り越えよう

安孫子 雅浩 委員

○新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市民利用施設への影響と対策について  
○コールセンター整備事業  
○歩道橋出入口周辺の安全対策と安全点検を実施すべき  
○歩道の根上がり対策の予算を確保し、計画的な修繕を  
○今回の新型コロナウイルスはわが国にとって本当に困難。難しがいじ取りを迫られている中、仙台市・市議会にとつて大切なのは市民の健康・生命・財産を守ること。与党・野党・政界を超え、超党派で乗り越えよう

## 社民党

いのまた 由美 委員

○子育て中の母親等が子育て情報の発信に恒常的に関わることができる仕組みづくりを。  
○情報発信アプリの運用段階で手法を検討していく  
○子どもの遊び場整備に子ども自身の意見反映の機会を  
○プラスチックごみの削減

石川 建治 委員

○交流人口を定住人口につなげる展望を持ち、快適な滞在環境の整備を推進すべき  
○快速な滞在環境で来訪者の満足度を高め、リピーター

○新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う市民利用施設への影響と対策について  
○コールセンター整備事業  
○歩道橋出入口周辺の安全対策と安全点検を実施すべき  
○歩道の根上がり対策の予算を確保し、計画的な修繕を  
○今回の新型コロナウイルスはわが国にとって本当に困難。難しがいじ取りを迫られている中、仙台市・市議会にとつて大切なのは市民の健康・生命・財産を守ること。与党・野党・政界を超え、超党派で乗り越えよう

## 市民と未来のために

伊藤 ゆうた 委員

○市内でも新型コロナウイルス感染症の患者が初めて確認された。市民の不安払拭のため、患者の行動歴等の情報も必要に応じて公開すべきと考えるが、所見を伺う  
○感染リスク低減に必要な場合は、個人情報・風評被害への配慮や患者本人・施設管理者の同意取得に努めた上で、立ち寄った施設など具体的な行動歴の公表もあり得る

伊藤 ゆうた 委員

○市内でも新型コロナウイルス感染症の患者が初めて確認された。市民の不安払拭のため、患者の行動歴等の情報も必要に応じて公開すべきと考えるが、所見を伺う  
○感染リスク低減に必要な場合は、個人情報・風評被害への配慮や患者本人・施設管理者の同意取得に努めた上で、立ち寄った施設など具体的な行動歴の公表もあり得る

伊藤 ゆうた 委員

○市内でも新型コロナウイルス感染症の患者が初めて確認された。市民の不安払拭のため、患者の行動歴等の情報も必要に応じて公開すべきと考えるが、所見を伺う  
○感染リスク低減に必要な場合は、個人情報・風評被害への配慮や患者本人・施設管理者の同意取得に努めた上で、立ち寄った施設など具体的な行動歴の公表もあり得る

## 環境費

伊藤 ゆうた 委員

○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある  
○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある  
○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある

伊藤 ゆうた 委員

○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある  
○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある  
○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある

○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある  
○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある  
○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある

## 環境費

伊藤 ゆうた 委員

○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある  
○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある  
○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある

伊藤 ゆうた 委員

○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある  
○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある  
○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある

伊藤 ゆうた 委員

○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある  
○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある  
○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある

## 環境費

伊藤 ゆうた 委員

○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある  
○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある  
○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある

伊藤 ゆうた 委員

○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある  
○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある  
○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある

○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある  
○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある  
○環境費の削減は、市民の健康と生活の質を損なう恐れがある

## 会派別所属議員

令和2年3月12日現在

自由民主党	公明党仙台市議団	日本共産党仙台市議団	市民と未来のために
猪田内千村跡岡庄野西鈴佐赤渡高佐菅松菊加橋斎	山貞郷鈴細沼渡佐村上	伊藤 蒼雲の会	市民と未来のために
又村藤葉岡部部司田澤木藤間辺橋木原本地藤本藤	下宗古木野沢辺藤上	加藤 小野寺 安孫子 雅 浩	伊藤 蒼雲の会
隆 良修貴 恒俊 啓勇正次 卓 正 由 崇 和 啓 範	山 貞 郷 鈴 細 沼 渡 佐 村 上	加藤 小野寺 安孫子 雅 浩	伊藤 蒼雲の会
広勝介平子薫司充讓文治昭彦博誠心和男良彦一夫	山 貞 郷 鈴 細 沼 渡 佐 村 上	加藤 小野寺 安孫子 雅 浩	伊藤 蒼雲の会

## 会派別議案賛否一覧表

議案 [ ]内は議案番号	会派名 ( )内は所属議員数						採決結果
	自由民主党 (22)	公明党仙台市議団 (9)	民主フォーラム仙台 (9)	日本共産党仙台市議団 (6)	市民と未来のために (3)	蒼雲の会 (1)	
令和元年度補正予算案 一般会計(第5号)[1] 特別会計 ・都市改造事業(第1号)[2] ・中央卸売市場事業(第1号)[3] ・公債管理(第1号)[4] ・新墓園事業(第1号)[5] ・介護保険事業(第1号)[6] ・後期高齢者医療事業(第1号)[7] 企業会計 ・下水道事業(第2号)[8] ・自動車運送事業(第1号)[9] ・高速鉄道事業(第2号)[10] ・水道事業(第1号)[11] ・ガス事業(第1号)[12] ・病院事業(第1号)[13]	○	○	○	○	○	○	可決
令和2年度予算案 一般会計[14] 企業会計 ・ガス事業[29] 特別会計 ・都市改造事業[15] ・国民健康保険事業[16] ・中央卸売市場事業[17] ・公共用地先行取得事業[18] ・駐車場事業[19] ・公債管理[20] ・母子父子寡婦福祉資金貸付事業[21] ・新墓園事業[22] ・介護保険事業[23] ・後期高齢者医療事業[24] 企業会計 ・下水道事業[25] ・自動車運送事業[26] ・高速鉄道事業[27] ・水道事業[28] ・病院事業[30]	○	○	○	×	○	○	可決
条例制定案 動物愛護管理員の設置に関する条例[31]	○	○	○	○	○	○	可決
条例改正案 職員定数条例[33]、市長等の給与に関する条例[34]、市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償に関する条例[35]、印鑑条例[36]、手数料条例[37]、人と猫との共生に関する条例[38]、食品衛生法の施行に関する条例[39]、公害防止条例[40]、地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例[41]、下水道事業の設置等に関する条例等[42]、浄化槽保守点検業者の登録に関する条例[43]、消防団員に関する条例[44]、消防関係手数料条例[45]、学校条例[46]、教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例[47]	○	○	○	○	○	○	可決
その他議案 中央卸売市場業務条例[32]、国民健康保険条例[58]	○	○	○	×	○	○	可決
その他議案 工事請負契約の締結に関する件[48~50]、指定管理者の指定に関する件[51]、包括外部監査契約の締結に関する件[52]、字の区域の変更に関する件[53]、市道路線の認定に関する件[54]	○	○	○	○	○	○	可決
その他議案 副市長の選任に関する件[55]、固定資産評価審査委員会の委員の選任に関する件[56]、人事委員会の委員の選任に関する件[59]、監査委員の選任に関する件[60]	○	○	○	○	○	○	同意
その他議案 人権擁護委員候補者の推薦に関する件[57]	○	○	○	○	○	○	異議ないものと決定
議員提出議案 意見書第1号 新型コロナウイルス感染症対策の徹底を求める件 意見書第2号 介護人材確保による持続可能な介護保険制度の確立を求める件 意見書第3号 中高年層のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める件	○	○	○	○	○	○	可決

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対

### 議長特別表彰を行いました

令和元年12月22日に京都市で開催された、男子第70回、女子第31回全国高等学校駅伝競走大会において、26年ぶり2度目の男女同時優勝を果たした仙台育英学園高等学校陸上競技部(長距離)の功績をたたえ、表彰を行いました。



仙台育英学園高等学校陸上競技部の選手と鈴木勇治議長(右)

### 意見書

**第1号 新型コロナウイルス感染症対策の徹底を求める件**  
新型コロナウイルス感染症の拡大が国民の暮らしに深刻な影響を及ぼしており、早急な対応が必要ことから、感染の拡大防止に向けた所要の措置について、周辺諸国および地方自治体と連携・協力し、全力を挙げて取り組むよう、強く求めるもの

**第2号 介護人材確保による持続可能な介護保険制度の確立を求める件**  
介護人材不足の影響が深刻化しており、介護保険制度の持続可能性が棄損されかねない事態に陥っていることから、介護人材の十分な確保と持続可能な介護保険制度の確立に

向けた所要の措置について、早急に取り組むよう、強く求めるもの

**第3号 中高年層のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める件**  
近年、ひきこもりが若年・青年層だけでなく、中高年層にも及ぶ大きな社会問題として取り上げられており、「8050問題」のように複合・複雑化した課題に対し、これまで以上に実効性ある支援と対策が求められていることから、所要の措置について、着実かつ早急に取り組むよう、強く求めるもの

可決した意見書は、国会および関係行政庁に提出しました。

**編集後記**  
この「仙台市議会だより」は、年に4回開催される定例会での審議の内容を、広く市民の皆さまにお伝えするために発行しています。

今回の令和2年第1回定例会は、新型コロナウイルスの国内感染が拡大し始めた時期と会期が重なったため、まさに「新型コロナウイルス」ともいえるべき様相を呈しました。この原稿を作成している3月下旬の時点でも、世界的な感染拡大は続いていきます。一日も早い事態の収束を願うばかりです。

さて、本市議会では、昨年度から新たに、無料情報誌やインターネットの広告を活用して、定例会の会期日程を皆さまに広くお知らせしています。

このような取り組みをはじめ、市議会をより身近に感じていただけるよう、広報委員会一同、これからも議会広報のさらなる充実を目指してまいります。

### 政治家の寄附の禁止について

政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。

【寄附の禁止に該当する例】  
お祭りや町内会の集会などへの寄附や飲食物の差し入れ、葬式の花輪、秘書等が代理で出席する場合の結婚祝いや葬式の香典など